

おわりあさひの環境 ♣

平成27年度環境基本計画年次報告書

-平成26年度の実績と現在の進捗状況について-

【平成27年度クリーンシティ推進運動ポスター受賞作品】



市長賞（三郷小学校 宮嶋紗菜さん）



教育委員会委員長賞
（本地原小学校 石原彩華さん）



市議会議長賞（旭丘小学校 野々垣悠斗さん）

平成27年12月
尾張旭市 環境課

1 尾張旭市環境基本計画の概要

1 計画の概要

(1) 計画の目的

本計画は、尾張旭市環境基本条例（平成16年条例第23号）に基づき、今ある環境を将来の世代に、より良くしながら継承し、誰もが健康で快適な市民生活を営むため、市、市民・市民団体、事業者が協力し、環境に配慮した総合的な取組みを示すことを目的としています。

(2) 計画期間

長期的な視点に立って環境の保全や創出に取り組むため、平成19年度から35年度までの17年間を計画の期間としています。

(3) 中間見直し

本計画は、策定時からの環境や社会経済情勢の変化、そしてこれまでの進捗状況や市総合計画を始めとした上位・関連計画の内容などを踏まえ、平成26年度に施策や指標の見直しなどを行いました。

2 望ましい環境像

将来あるべき姿を考え、全員参加で環境の保全と創出に取り組むことのできるまちを目指し、望ましい環境像を次のように定めています。

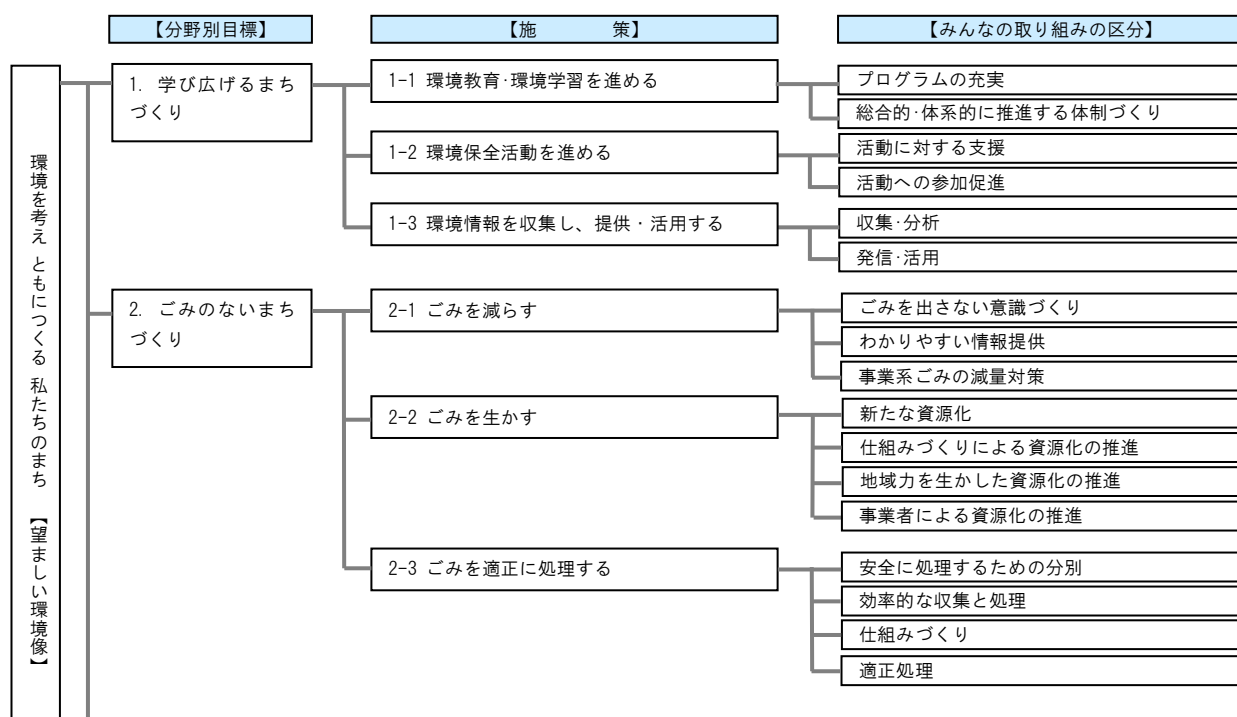
環境を考え ともにつくる 私たちのまち

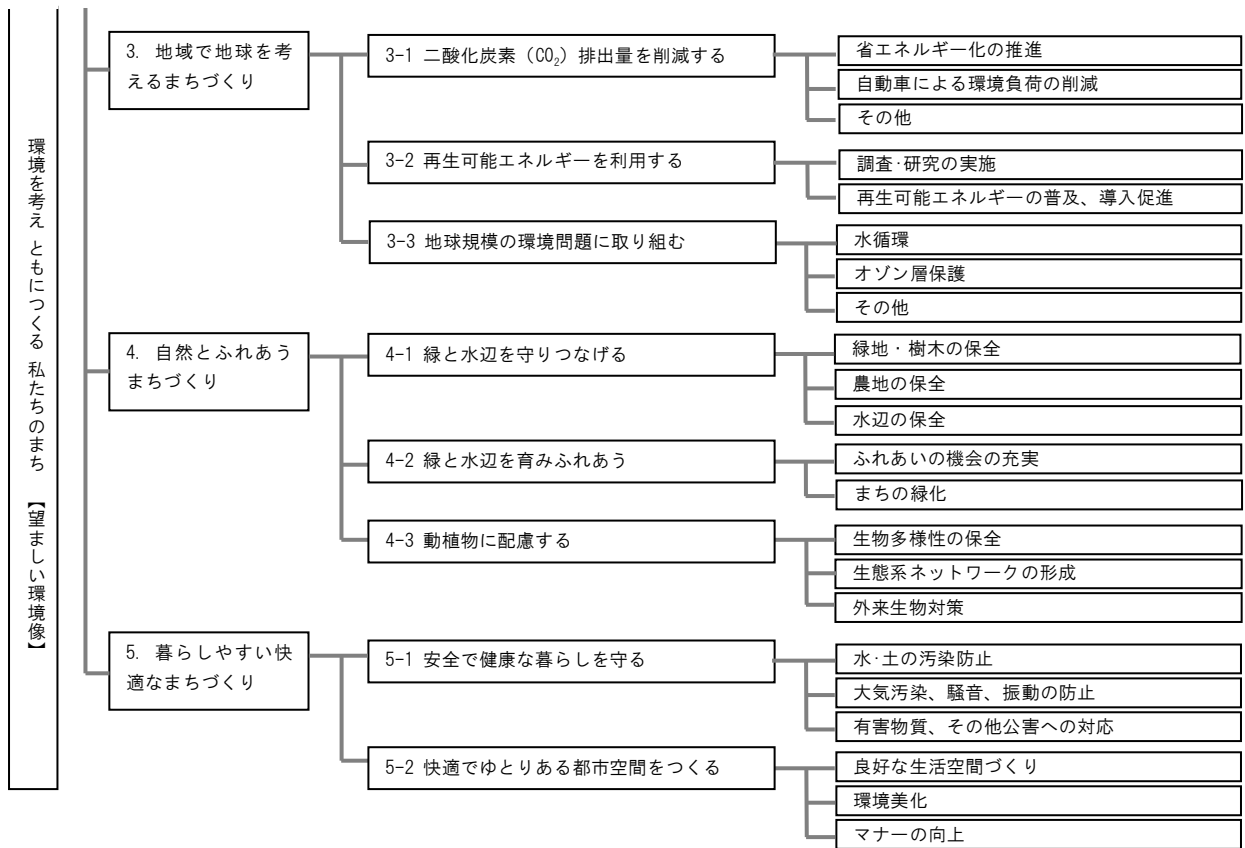
3 施策の体系

本計画では、望ましい環境像の実現に向けて、5つの「分野別目標」と14の「施策」を設定しています。また、それぞれの「施策」を実現するため、「みんな（市、市民・市民団体、事業者）の取組み」を設定しています。

なお、平成26年度に実施した「環境基本計画の中間見直し」では、特に「ESD*の視点に基づく環境教育の推進」と「省エネルギー化・再生可能エネルギー導入の推進」、そして「生物多様性の保全」の3点に着目して、施策や指標の見直しなどを行っています。

*ESD：持続可能な開発のための教育

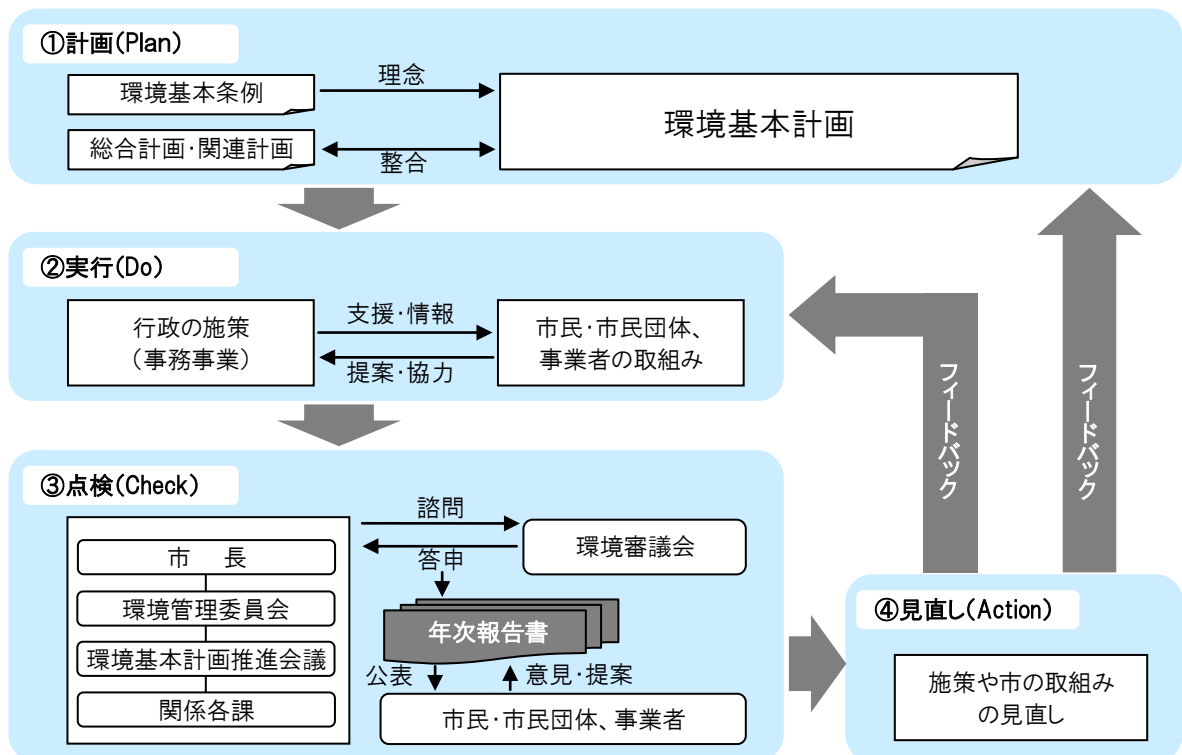




4 計画の進行管理体制・年次報告書

全ての主体が連携・協働のもと計画を着実に推進するため、次の推進体制によって進行管理を行っています。

また、市民や事業者の皆さんからいただいたご意見を、その後の施策や進行管理に生かしていくため、計画に基づく取り組み状況を毎年点検・公表し、「年次報告書」としてまとめています。



II 平成26年度の実績と現在の進捗状況

1 「施策」の目標達成度を示す「指標」の状況

「みんなの取り組み」の実施によって、どれだけ施策の目的が達成されたかを見る「指標（モノサシ）」の状況（平成26年度）を、中間見直し後の基準値（平成24年度実績値）と比較した結果、

全40指標中 ○（基準値に対し、数値が改善）が、18件（全体の45%）

△（数値に変更なし）が、10件（全体の25%）

×（数値が悪化）が、12件（全体の30%） となりました。

詳細については、6ページ以降の「IV 施策ごとの取り組み状況」をご覧ください。

分野別目標	指標名	評価
①学び広げるまちづくり	環境問題に関心を持って自ら学んでいる市民割合	×
	ESDユネスコスクール数	△
	環境を考えた行動をしている児童生徒の割合	△
	環境保全活動等に参加している市民団体数 ※	○
	環境保全分野のボランティアをしている市民の割合 ※	△
	環境に関する情報の発信機会	○
	河川水質調査項目数	△
②ごみのないまちづくり	環境保全の知識を学んでいる市民の割合	×
	市民一人一日あたりのごみ総量	○
	再使用している市民の割合	×
	ごみの発生抑制（リデュース）に取り組んでいる市民の割合	×
	環境事業センターにおけるリユース件数	○
	燃えるごみの組成調査における資源物の混入割合	○
	資源化率	△
③地域で地球を考えるまちづくり	ごみ残置シール貼付数	×
	ごみ収集に関する不具合・事故件数	○
	地球環境にやさしい取り組みの平均実践項目数	×
	省エネルギー、再生可能エネルギー設備を導入している市民の割合	△
	市の施設における温室効果ガス排出量	○
④自然とふれあうまちづくり	再生可能エネルギーを活用している公共施設数	○
	環境保全を意識し、行動している市職員の割合	○
	公共緑地面積	○
	民有緑地面積	△
	農業振興地域における農地面積	△
	緑・水辺に親しめる場所があると思う市民割合	○
	新たに生み出された緑の箇所数	×
	自ら緑を育成している市民の割合	×
	水辺空間を利用している市民の割合	×
	水辺空間の満足度	○
⑤暮らしやすい快適なまちづくり	緑地面積	△
	BOD（生物化学的酸素要求量）の主要河川での改善数値	○
	快適な生活衛生環境だと思う市民の割合	○
	下水道普及率	○
	生活衛生環境に関する苦情の解決率	△
	水質を維持しているため池数	○
	生活衛生環境を保全する活動を行っている市民の割合	×
	秩序とやすらぎを感じる街が形成されていると思う市民割合	○
	都市景観に満足している市民割合	○
	生活衛生環境の向上支援件数	×
ペット・小動物に関する苦情件数	×	

※は、「④自然とふれあうまちづくり」の指標としても活用しています。

2 「みんなの取り組み」によって進んだことがら

① 学び広げるまちづくり

尾張旭市立渋川小学校の4年生の皆さんが、隣接して流れる「天神川」の水質調査のほか、水質浄化の研究や生き物調べ、さらには川柳・俳句作りや書写まで展開する等、総合的な学習を進めています。

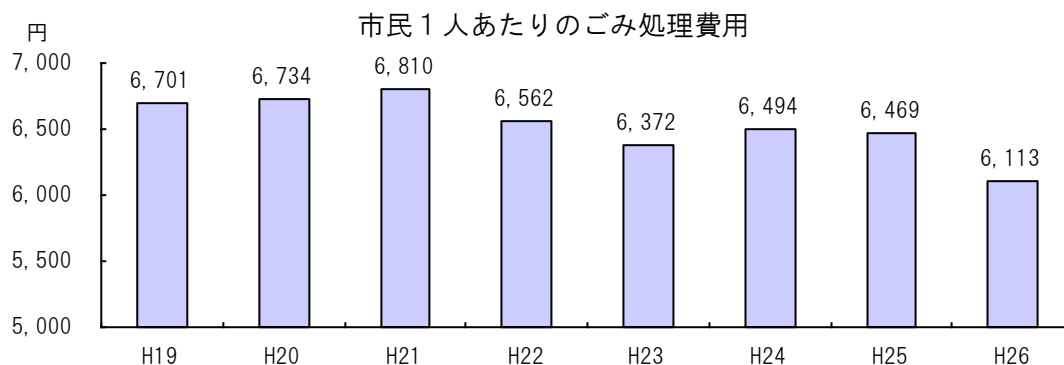


[児童が作成した川柳・俳句の例]

川の音 鳥のさえずり 合しようだ
 むれつれて すいすい泳ぐ 魚たち
 アメンボが おどるように 泳いでる
 太陽の 光がうつる 天神川
 川岸に いても聞こえる 波の音
 シャラシャラと 川の歌声 聞こえるよ
 おばあさん 夏のさん歩は 川に行く
 ボールがね 流れにつられて 泳いでる

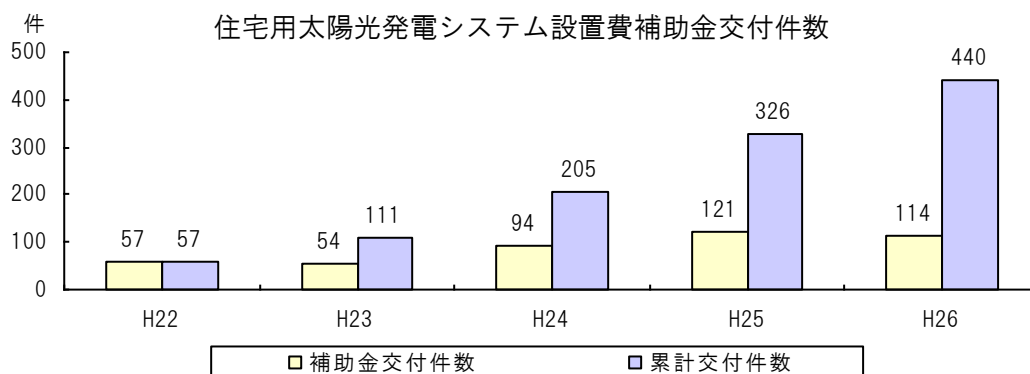
② ごみのないまちづくり

ごみの減量意識や分別意識の高まりによって、市民1人あたりのごみ処理費用は減少傾向にあります。



③ 地域で地球を考えるまちづくり

地球温暖化防止のため、市の補助金を利用して再生可能エネルギーを導入する家庭が増加し、年間748トンの二酸化炭素の削減（スギの木が1年間に吸収するCO₂の量の約53,000本分相当）につながっています。



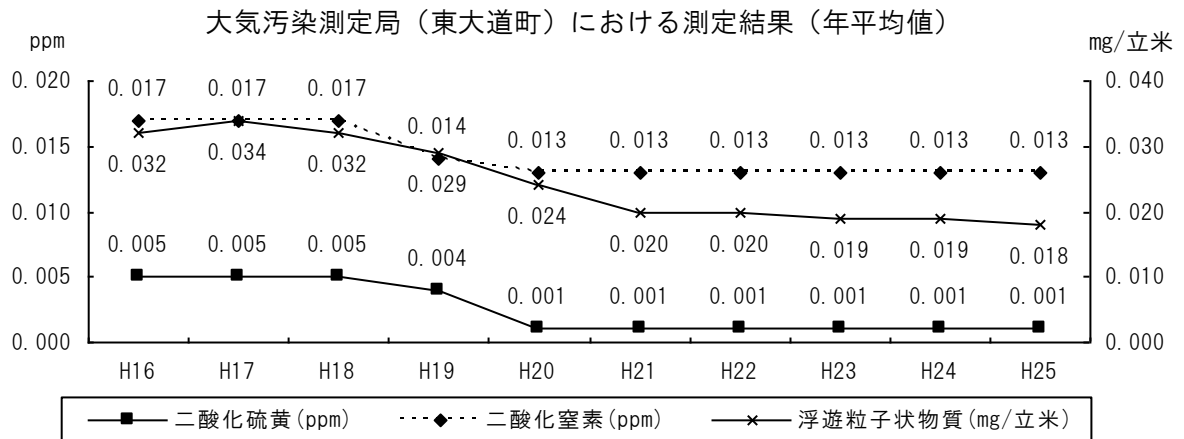
④ 自然とふれあうまちづくり

市中央部にある長池において「池こね」が実施され、ため池の仕組みや役割を学ぶとともに、そこに棲む生き物とふれあう体験をし、外来種の駆除も実施しました。



⑤ 暮らしやすい快適なまちづくり

市内の大気汚染の状況は、年々減少傾向にあって引き続き環境基準*を達成しているとともに、二酸化硫黄や浮遊粒子状物質の測定値は、県内で最も低くなっています。



*環境基準
 ■ 二酸化硫黄： 1時間値の1日平均値が0.04ppm以下、かつ1時間値が0.1ppm以下
 ◆ 二酸化窒素： 1時間値の1日平均値が0.04から0.06ppmまでゾーン内又はそれ以下
 × 浮遊粒子状物質：1時間値の1日平均値が0.1mg/立米以下、かつ1時間値が0.2mg/立米以下

III 「IV 施策ごとの取り組み状況」の見方

6ページ以降の「IV 施策ごとの取り組み状況」については、次のような形で記載しています。

1 「施策」の目的達成度を示す指標の推移

平成25年度と平成26年度の指標の状況を表形式で、近年の移り変わりの状況をグラフで表しています。

なお、2年ごとに実施している「尾張旭市まちづくりアンケート」の結果を指標としている場合や、新規で設定した指標については、アンケート実施年度のものを再掲しています。

[例]

指標名	基準値 (H24)	実績値 (H25)	実績値 (H26) (H25データ)	長期目標値 (H35)
環境問題に関心を持って自ら学んでいる市民割合	12.4%	8.8%	8.8%	17.0%

2 主な「みんなの取り組み」の状況

「施策」を実現するための、「みんなの取り組み」の主なものについて、平成26年度の実績と現在の状況を掲載しています。

なお、市民・市民団体による取り組みについては**市民**・**市民団体**として、事業者による取り組みは**事業者**として掲載し、それぞれ「市民が」、「事業所が」といった形で表示しています。

[例]

みんなの取り組み内容	平成26・27年度の取り組み状況
市民 緑のカーテンに取り組みます。	市民が 、自宅で育成した緑のカーテンの写真を、市主催の「緑のカーテンの写真募集」事業に応募しました。
事業者 地球環境問題に関心を持ち、事業活動における温暖化対策、省エネルギーなどに努めます。	市内事業所が、市の「職員出前講座」を利用し、地球温暖化問題に関する研修会を開催しました。

3 今後より一層の「みんなの取り組み」が必要な主なことがら

「市の取り組み」のうち、まだ手がつけられていない取り組みや、今後もっと努力や検討が必要な取り組みをピックアップし、今後へとつなげます。

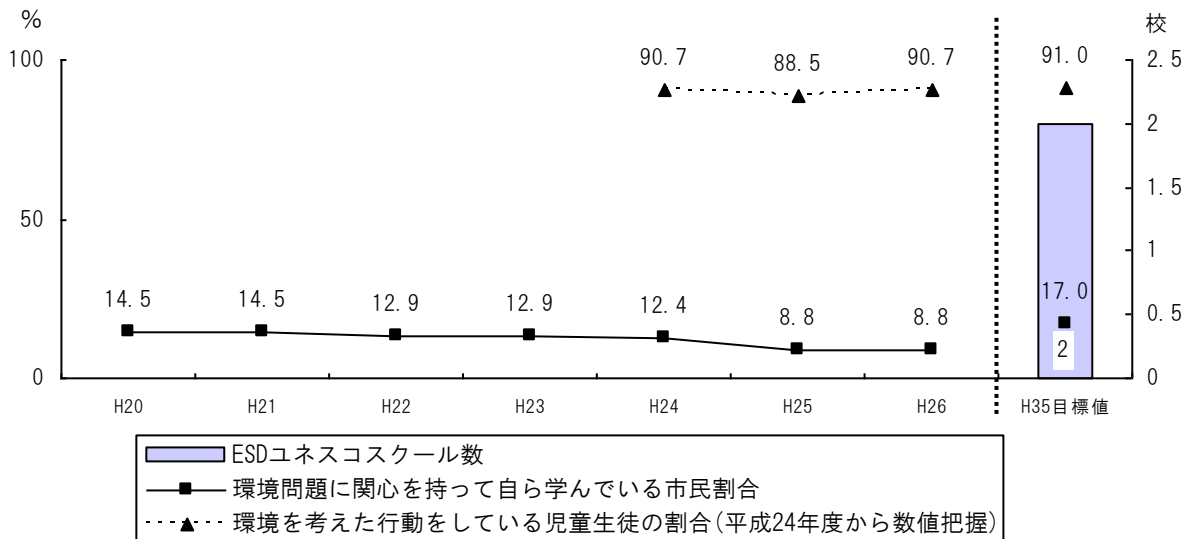
IV 施策ごとの取り組み状況

分野別目標 ①	学び広げるまちづくり
---------	------------

1 「施策」の目的達成度を示す指標の推移

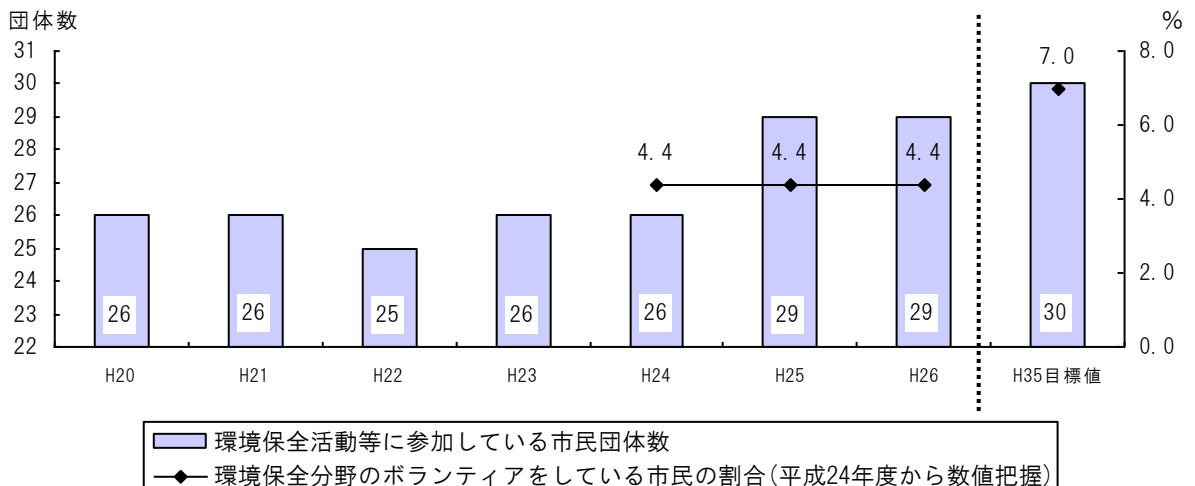
施策1-1 環境教育・環境学習を進める

指標名	基準値 (H24)	実績値 (H25)	実績値 (H26)	長期目標値 (H35)
ESDユネスコスクール数	0校	0校	0校	2校
環境問題に関心を持って自ら学んでいる市民割合	12.4%	8.8%	8.8% (H25データ)	17.0%
環境を考えた行動をしている児童生徒の割合	90.7%	88.5%	90.7%	91.0%



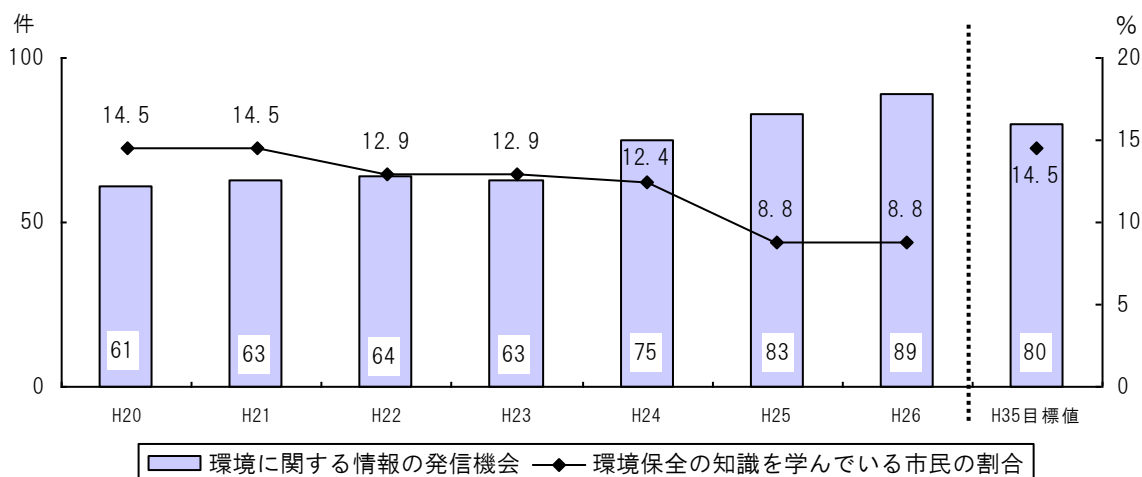
施策1-2 環境保全活動を進める

指標名	基準値 (H24)	実績値 (H25)	実績値 (H26)	長期目標値 (H35)
環境保全活動等に参加している市民団体数	26団体	29団体	29団体	30団体
環境保全分野のボランティアをしている市民の割合	4.4%	4.4% (H24データ)	4.4% (H24データ)	7.0%



施策1-3 環境情報を収集、提供・活用する

指標名	基準値 (H24)	実績値 (H25)	実績値 (H26)	長期目標値 (H35)
環境に関する情報の発信機会	75件	83件	89件	80件
環境保全の知識を学んでいる市民の割合	12.4%	8.8%	8.8% (H25データ)	14.5%
河川水質調査項目数	22件	22件	22件	22件



2 主な「みんなの取り組み」の状況

①プログラムの充実

みんなの取り組み内容	平成26・27年度の取り組み状況
地域の特性を活かしながら、環境に関する講座や見学会など学習の機会を提供します。	市北部の貴重な植物が生育する吉賀池の一般公開を春、夏、秋、晩秋に開催し、平成26年度は初夏、平成27年度は中秋の公開を新たに行いました。
環境教育・環境学習に関する情報提供・啓発に努めます。	市広報やホームページ、チラシの配布などを通じて環境教育・環境学習に関する情報を提供しました。
学校における環境教育を積極的に推進するとともに、子どもたちが自然とふれあう機会の充実に努めます。	渋川小学校が、天神川の水質パトロールを実施し、水生生物の調査や水質を浄化するための方策などの検討を行いました。
事業者 事業所内で環境に関する研修会などを開催し、従業員に対する環境教育・環境学習の推進に努めます。	市内事業所が、環境に関する市の出前講座を利用し、地球温暖化防止に関する研修会を開催しました。

②総合的・体系的に推進する体制づくり

みんなの取り組み内容	平成26・27年度の取り組み状況
環境教育・環境学習を総合的・体系的に推進する体制の整備に努めます。	環境教育や環境学習を実施している団体や庁内各部署との連携に向け、個別協議を行いました。
ユネスコスクールへの加盟を申請し、子どもたちがESDの視点から議論したり、世界に向けて発信したりする機会を設けることを検討します。	市内2か所の小学校が、ユネスコスクールへの加盟を申請しました。
学校内のビオトープを活用した水生生物調査のほか、大気や水の調査など、学校ごとに特色のある取り組みの実施に努めます。	旭小学校が、愛知県の事業を活用した「ストップ温暖化教室」の開催準備を進めました。(H28. 2. 3開催予定)
市民団体 市民団体は、地域における環境教育・環境学習に協力するよう努めます。	市民団体が、渋川小学校の児童による天神川の水質パトロールの際に、講師を派遣しました。

③活動に対する支援

みんなの取り組み内容	平成26・27年度の取り組み状況
地域における環境保全活動を推進する人材や団体の育成を図るとともに、環境保全活動に関する表彰や活動支援を行います。	市民団体の長年にわたる環境保全活動に係る功績を讃えるため、環境省による「水・大気環境局長表彰」に推薦しました。
市民 事業者や市が開催する環境関連イベントに積極的に参加します。	市民が、市と校区社会福祉推進協議会主催の「まち美化大作戦」に参加し、市内の一斉清掃を行いました。
事業者 地域の環境保全活動や環境関連イベント等に積極的に参加・協力します。	市内事業所の社員等が、市民団体主催の「矢田川一斉クリーン大作戦」に参加しました。

④活動への参加促進

みんなの取り組み内容	平成26・27年度の取り組み状況
活動団体の環境保全に関する情報を収集・整理し、市民への提供・啓発に努めます。	市民団体が発行する資料やチラシを、公共施設で掲示又は配布し、発行物の販売支援も行いました。
事業者 事業所内や事業において環境に配慮した取り組みを広く紹介します。	市内のスーパーが、小学生を対象に教室を開催し、自社の環境への取り組みを紹介しました。

⑤収集・分析

みんなの取り組み内容	平成26・27年度の取り組み状況
社会経済情勢を踏まえながら、環境を取り巻く情報や、自然資源の分布等を客観的・定量的に把握します。	平成27年7月に政府が決定した温室効果ガス削減目標を踏まえ、対応措置の必要性を市職員研修などで説明しました。
河川の水質調査や工場の排水調査を継続的に実施し、水質汚濁状況を把握します。	市内の河川の4か所で水質調査を年5回実施するとともに、2か所の工場排水調査を行いました。
市民 家庭版環境ISOに取り組み、家庭でのエネルギー使用量等の把握に努めます。	市民が、家庭版環境ISO事業や、その簡易版であるCO ₂ CO ₂ （コソコソ）ダイエットプラン事業に参加しました。

⑥発信・活用

みんなの取り組み内容	平成26・27年度の取り組み状況
環境情報を積極的に発信し、市民の意識高揚につなげます。	本市の環境関連情報を愛知県の情報掲示板（エコリンクあいち）を通じて発信しました。



②総合的・体系的に推進する体制づくり
～市民団体による小学校での水質調査講座



④活動への参加促進
～市内スーパーでの環境教室

3 今後より一層の「みんなの取り組み」が必要な主なことがら

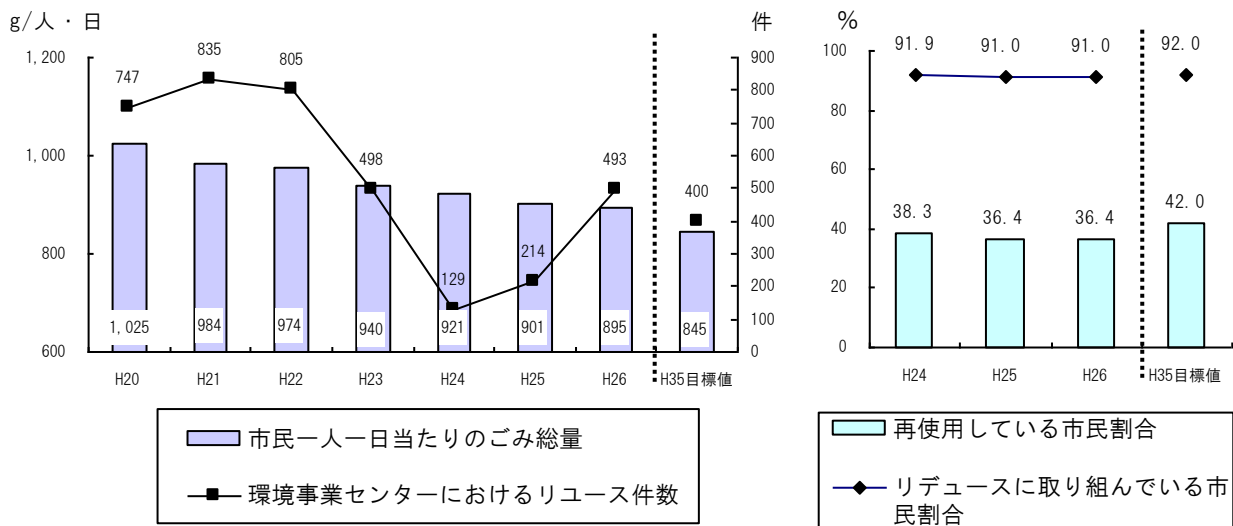
みんなの取り組み区分	内容
①プログラムの充実	高校生以上の年齢層を対象とした環境学習機会の提供
②総合的・体系的に推進する体制づくり	幅広い年齢層のかたが環境学習に参加したくなるような情報提供・啓発方法の検討
③活動に対する支援	活動状況の情報交換機会の創出
④活動への参加促進	活動へ参加募集方法の検討
⑥発信・活用	環境に関する無関心層への啓発方法の検討

分野別目標 ② ごみのないまちづくり

1 「施策」の目的達成度を示す指標の推移

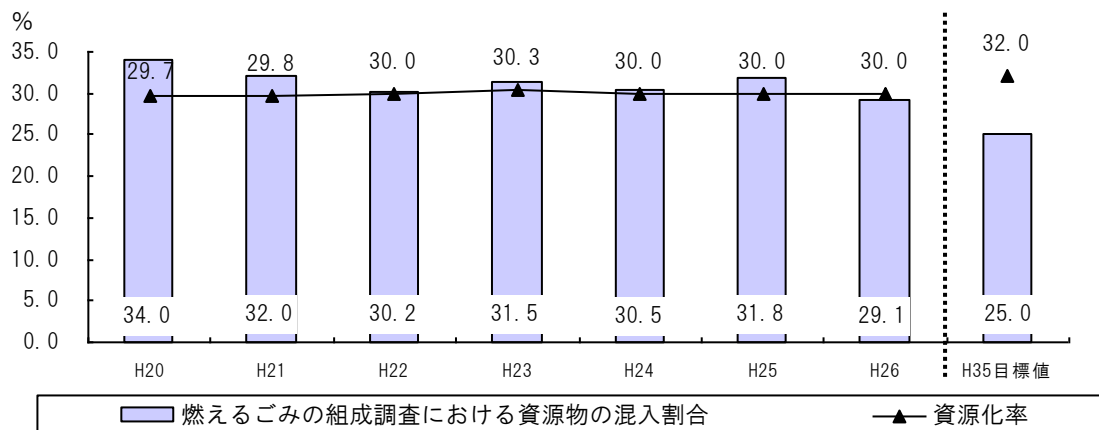
施策2-1 ごみを減らす

指標名	基準値 (H24)	実績値 (H25)	実績値 (H26)	長期目標値 (H35)
市民一人一日あたりのごみ総量	921 g/人・日	901 g/人・日	895 g/人・日	845 g/人・日
環境事業センターにおけるリユース件数	129件	214件	493件	400件
再使用している市民の割合	38.3%	36.4%	36.4% (H25データ)	42.0%
ごみの発生抑制(リデュース)に取り組んでいる市民の割合	91.9%	91.0%	91.0% (H25データ)	92.0%



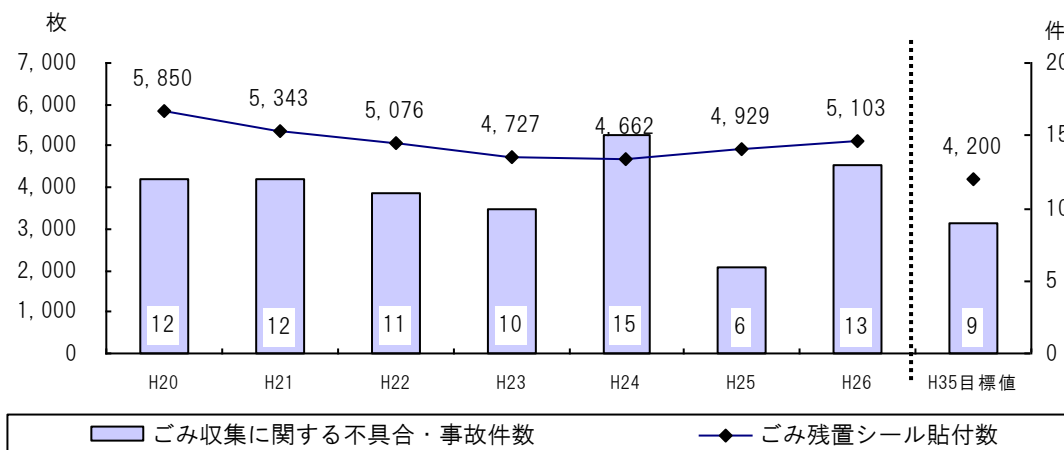
施策2-2 ごみを生かす

指標名	基準値 (H24)	実績値 (H25)	実績値 (H26)	長期目標値 (H35)
燃えるごみの組成調査における資源物の混入割合	30.5%	31.8%	29.1%	25.0%
資源化率	30.0%	30.0% (H24データ)	30.0%	32.0%



施策2-3 ごみを適正に処理する

指標名	基準値 (H24)	実績値 (H25)	実績値 (H26)	長期目標値 (H35)
ごみ収集に関する不具合・事故件数	15件	6件	13件	9件
ごみ残置シール貼付数	4,662枚	4,929枚	5,103枚	4,200枚



2 主な「みんなの取り組み」の状況

①ごみを出さない意識づくり

みんなの取り組み内容	平成26・27年度の取り組み状況
レジ袋削減運動を更に展開します。	市内の新規店舗にレジ袋無料配布中止協力店舗への参加を依頼し、3店舗を優良店として認定しました。
事業者 買い物袋持参運動の推進などにより、レジ袋の削減に努めます。	市内事業者が、新たにレジ袋無料配布中止協力店舗に参加しました。

②わかりやすい情報提供

みんなの取り組み内容	平成26・27年度の取り組み状況
保育園での生ごみを使った堆肥化の取り組みを進めます。	市民団体に市内保育園の給食調理くずや食べ残しの堆肥化事業のほか、これによる食育支援を委託しました。
市民 ごみ処理施設の見学会に参加します。	市民が、親子リサイクル教室に参加し、リサイクル広場と晴丘センター、関連企業を見学しました。

③事業系ごみ減量対策

みんなの取り組み内容	平成26・27年度の取り組み状況
事業系ごみの実態を把握するため事業者アンケートを実施します。	市民と組織する「事業系ごみ適正化プロジェクト」で、アンケート実施に向けた検討を行いました。
放置自転車の再使用を進めます。	関連部署と連携し、市に帰属した放置自転車をリサイクル広場でリユース品として提供しました。
市民 自転車(リユース品)を利用します。	市民が、リサイクル広場で提供された自転車を利用しました。

④新たな資源化

みんなの取り組み内容	平成26・27年度の取り組み状況
剪定枝、木製品の再生利用を進めます。	剪定枝や木製品の回収方法に関する情報収集を行い、瀬戸市や長久手市との調整を行いました。
市民 生ごみ処理機の活用や生ごみの堆肥化に努めます。	市民が、生ごみ処理機等購入費補助制度を活用し、生ごみの堆肥化を進めました。

⑤仕組みづくりによる資源化の推進

みんなの取り組み内容	平成26・27年度の取り組み状況
市民にとって便利なリサイクルステーションを設置します。	市内事業者の協力を得て、店舗内の駐車場で、試行的にリサイクルステーションを開設しました。
市民 生ごみ処理機の活用や生ごみの堆肥化に努めます。	市民が、生ごみの堆肥化に関する市民団体開催の講習会や出前講座に参加しました。

⑥地域力を生かした資源化の推進

みんなの取り組み内容	平成26・27年度の取り組み状況
ごみの減量と資源化を自治会等の各種団体と共に積極的に進めます。	旭丘連合自治会とともに「がおかエコフェス」を開催し、ごみの減量と資源化について啓発しました。

⑦事業者による資源化の推進

みんなの取り組み内容	平成26・27年度の取り組み状況
学校給食における食品残渣等の資源化と教育への活用について検討します。	給食センターの施設見学や、食育に関するパネルの掲示などを行いました。
事業者 剪定枝の資源化に努めます。	市内造園業者等が、剪定枝の資源化に協力しました。

⑧安全に処理するための分別

みんなの取り組み内容	平成26・27年度の取り組み状況
消火器、バッテリー、プロパンボンベ等を販売店で適正処理するよう呼びかけます。	消火器の処分方法をホームページに掲載し、適正処理に関する啓発を行いました。

⑨効率的な収集と処理

みんなの取り組み内容	平成26・27年度の取り組み状況
効率的なごみの収集運搬体制を整えます。	市内の一部地域において、プラスチックごみの毎週収集を試行的に行いました。

⑩仕組みづくり

みんなの取り組み内容	平成26・27年度の取り組み状況
あさひ訪問収集を地域と連携した制度へ拡充します。	ケアマネージャー等と連携し、あさひ訪問収集連絡会議を設置し、制度の利用について啓発しました。

⑪適正処理

みんなの取り組み内容	平成26・27年度の取り組み状況
公共事業や市役所等の公共施設から出るごみを適正に処理します。	公共施設のごみを、平成28年度から「事業系ごみ」として処理する方向で準備を進めました。



②わかりやすい情報提供
～保育園での生ごみを使った堆肥化



⑤仕組みづくりによる資源化の推進
～店舗駐車場で試行開設したリサイクルステーション

3 今後より一層の「みんなの取り組み」が必要な主なことから

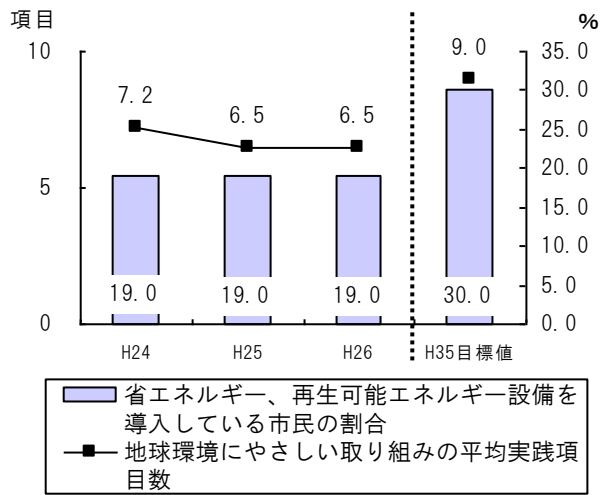
みんなの取り組み区分	内容
①ごみを出さない意識づくり	燃えるごみの排出量に応じた費用負担の検討
②わかりやすい情報提供	ごみに関する学習拠点の発展
③事業系ごみ減量対策	商工会等と連携した事業系ごみの処理に関する啓発
④新たな資源化	小型家電の新たな分別回収方法
⑤仕組みづくりによる資源化の推進	燃えるごみの分別啓発を目的とした戸別収集制度の検討
⑥地域力を生かした資源化の推進	自治会等との連携による生ごみ堆肥化のモデル事業
⑦事業者による資源化の推進	買った店に使い終えた容器を戻す仕組みの拡大
⑧安全に処理するための分別	スプレー缶、カセットボンベ、ライターの分別回収
⑨効率的な収集と処理	「一般廃棄物会計基準」の導入
⑩仕組みづくり	ごみ相談窓口の効率化
⑪適正処理	空き缶等の投げ捨てや屋外焼却行為への厳格対応

分野別目標 ③ 地域で地球を考えるまちづくり

1 「施策」の目的達成度を示す指標の推移

施策3-1 二酸化炭素 (CO₂) 排出量を減らす

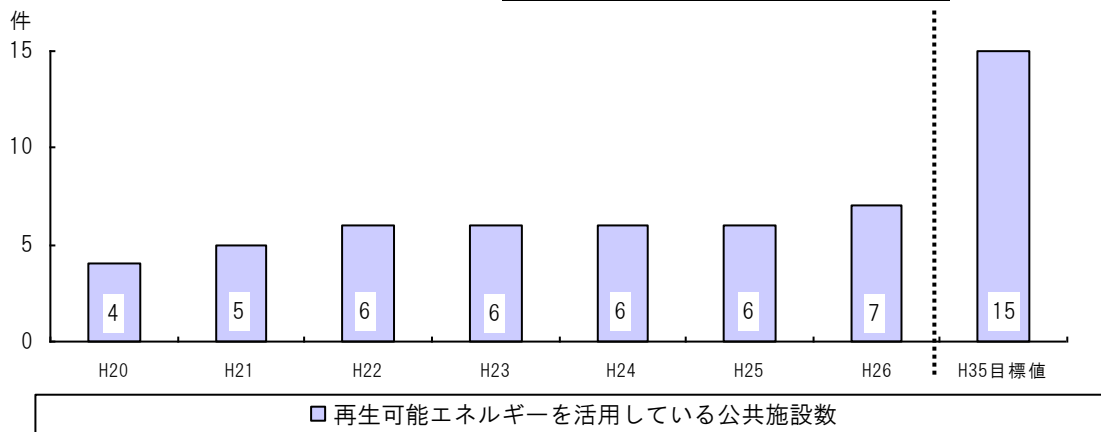
指標名	基準値 (H24)	実績値 (H25)	実績値 (H26)	長期目標値 (H35)
省エネルギー、再生可能エネルギー設備を導入している市民の割合	19.0%	19.0% (H24データ)	19.0% (H24データ)	30.0%
地球環境にやさしい取り組みの平均実践項目数	7.2項目	6.5項目	6.5項目 (H25データ)	9.0項目
市の施設における温室効果ガス排出量	2,386.7t-CO ₂	2,280.6t-CO ₂	2,265.4t-CO ₂	2,300t-CO ₂



市の施設における温室効果ガス排出量

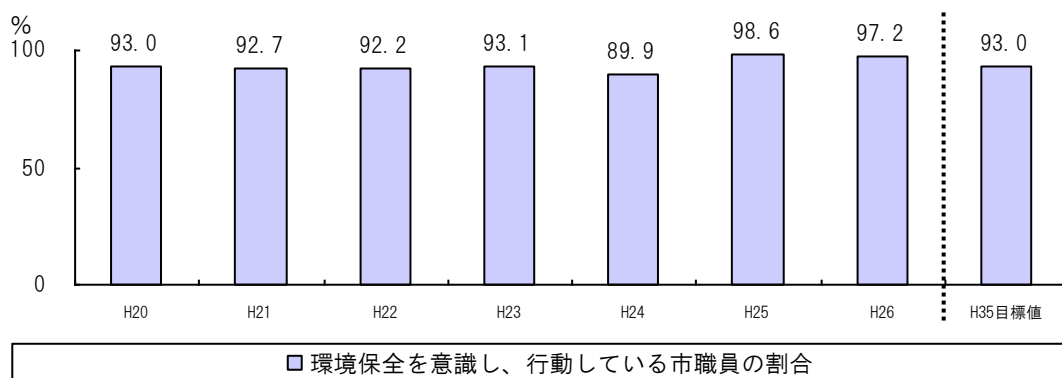
施策3-2 再生可能エネルギーを利用する

指標名	基準値 (H24)	実績値 (H25)	実績値 (H26)	長期目標値 (H35)
再生可能エネルギーを活用している公共施設数	6件	6件	7件	15件
地球環境にやさしい取り組みの平均実践項目数 <small>再掲</small>	7.2項目	6.5項目	6.5項目 (H25データ)	9.0項目
省エネルギー、再生可能エネルギー設備を導入している市民の割合 <small>再掲</small>	19.0%	19.0% (H24データ)	19.0% (H24データ)	30.0%



施策3-3 地球規模の環境問題に取り組む

指標名	基準値 (H24)	実績値 (H25)	実績値 (H26)	長期目標値 (H35)
環境保全を意識し、行動している市職員の割合	89.9%	98.6%	97.2%	93.0%
地球環境にやさしい取り組みの平均実践項目数 <small>再掲</small>	7.2項目	6.5項目	6.5項目 (H25データ)	9.0項目



2 主な「みんなの取り組み」の状況

①省エネルギー化の推進

みんなの取り組み内容	平成26・27年度の取り組み状況
温暖化対策や省エネルギー対策に関する情報提供・啓発に努めます。	地元FMラジオやケーブルテレビの番組に出演し、温暖化対策に関する情報を発信しました。
市内全ての公共施設で緑のカーテン事業を実施します。	公民館、保育園、小学校などの全ての公共施設で、緑のカーテン事業を行いました。
住宅用エネルギー管理システム（HEMS）により、太陽光発電の発電量や機器ごとの電力使用量等を「見える化」し、蓄電池や電気自動車への充放電など、電力の効率的な利用を可能とするスマートハウスの普及に努めます。	HEMS、家庭用燃料電池システム（エネファーム）、定置用リチウムイオン蓄電システム、電気自動車等充給電設備の設置費の補助制度を試行的に行いました。
事業者 エコマーク製品の購入などグリーン購入に努めます。	市内事業者が、自社で製造したエコマーク製品を販売し、これを活用したイベントを開催しました。

②自動車による環境負荷低減

みんなの取り組み内容	平成26・27年度の取り組み状況
公共交通網の充実に努めます。	停留所の設定やダイヤ等の検討をし、バスを追加購入しました。
公用車の購入や買い替えの際には、次世代自動車等先進エコカーの導入に努めます。	老朽化した公用車の代替として、電気自動車を1台導入しました。
次世代自動車等エコカーの導入と、関連設備の整備を促進します。	市役所駐車場内に電気自動車やプラグインハイブリット車用の充電スタンドを設置しました。
市民 公共交通機関が利用できる場合は、自家用車よりも公共交通機関を利用するよう努めます。	平成26年度は、152,693人（1便当たり21.6人）が市営バスあさび一号を利用しました。（平成25年度利用者数：153,553人）

③その他 【施策3-1】

みんなの取り組み内容	平成26・27年度の取り組み状況
各家庭や事業所へのゴーヤの苗の配布事業を継続します。	ゴーヤの苗を配布し、これを使って約3,800名の市民が自宅で緑のカーテンを育成しました。
市民 緑のカーテンに取り組めます。	市民が、自宅で育成した緑のカーテンを撮影し、市主催の「緑のカーテンの写真募集」事業に応募しました。
事業者 地球環境問題に関心を持ち、事業活動における温暖化対策、省エネルギーなどに努めます。	市内事業所が、市の「職員出前講座」を利用し、地球温暖化問題に関する研修会を開催しました。

④調査・研究の実施

みんなの取り組み内容	平成26・27年度の取り組み状況
再生可能エネルギーの賦存量・利用可能量の調査を行います。	市内における再生可能エネルギーの賦存量や、利用可能量を調査しました。
事業者 事業所で使用するエネルギーを、自ら創出する設備の導入を検討します。	市内運送事業者が、食用油を利用したバイオ燃料を利用しました。

⑤再生可能エネルギーの普及、導入促進

みんなの取り組み内容	平成26・27年度の取り組み状況
環境省の「再生可能エネルギー等導入推進事業」を活用して、公共施設への太陽光発電設備の設置を進めます。	環境省の事業を活用して、防災拠点である市消防本部に、太陽光発電設備と蓄電池の設置を進めました。
公共施設の屋根を貸し出し、太陽光発電設備を設置する事業の導入を進めます。	10か所の公共施設の屋根を民間事業者へ貸し出し、太陽光発電を行う事業を進めました。
事業者 再生可能エネルギーを積極的に活用します。	市内事業所が、自社工場敷地内に大規模な太陽光発電設備を設置しました。

⑥水循環

みんなの取り組み内容	平成26・27年度の取り組み状況
雨水利用や節水など、水の有効利用を普及啓発します。	水道週間等に水源（浄水場）見学を開催し、水の有効利用に関する啓発を行いました。

⑦オゾン層保護

みんなの取り組み内容	平成26・27年度の取り組み状況
オゾン層の保護など、地球規模の環境問題に対する意識啓発を推進します。	平成27年4月に施行された「フロン排出抑制法」に関する啓発を行いました。

⑧その他 【施策3-3】

みんなの取り組み内容	平成26・27年度の取り組み状況
光化学スモッグやPM2.5に対する注意喚起や啓発を図ります。	愛知県が市立図書館駐車場へ新たにPM2.5測定機器を設置し、その観測結果を市ホームページで公表しました。
市民 地球環境問題に関する情報を収集し、正しい知識を身につけます。	市民が、市主催の各種環境講座に参加して、関連する知識や理解を深めました。



②自動車による環境負荷低減
～市役所駐車場内の充電スタンド



⑧その他 【施策3-3】
～図書館駐車場内のPM2.5測定施設

3 今後より一層の「みんなの取り組み」が必要な主なことがら

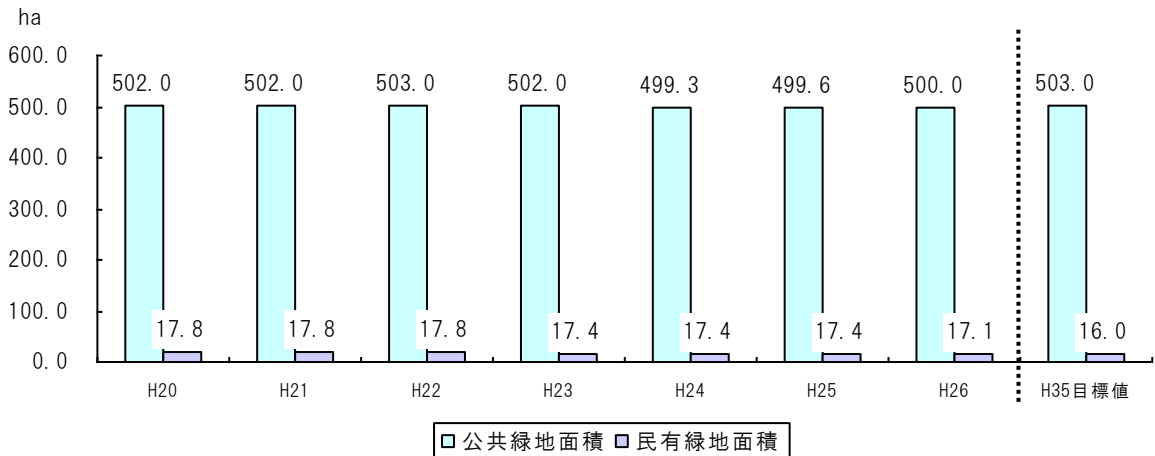
みんなの取り組み区分	内容
①省エネルギー化の推進	企業における省エネルギーを推進する人材の育成支援
②自動車による環境負荷低減	エコドライブの実施促進
③その他	温室効果ガスの排出削減のための計画的な施策の実施
④調査・研究の実施	エネルギーの地産地消に係る理解促進
⑤再生可能エネルギーの普及、導入促進	太陽光発電など、自然エネルギーの利用促進
⑥水循環	雨水浸透ますの導入促進
⑦オゾン層保護	フロン回収に係る啓発の実施
⑧その他	環境マネジメントシステムの構築支援

分野別目標 ④ 自然とふれあうまちづくり

1 「施策」の目的達成度を示す指標の推移

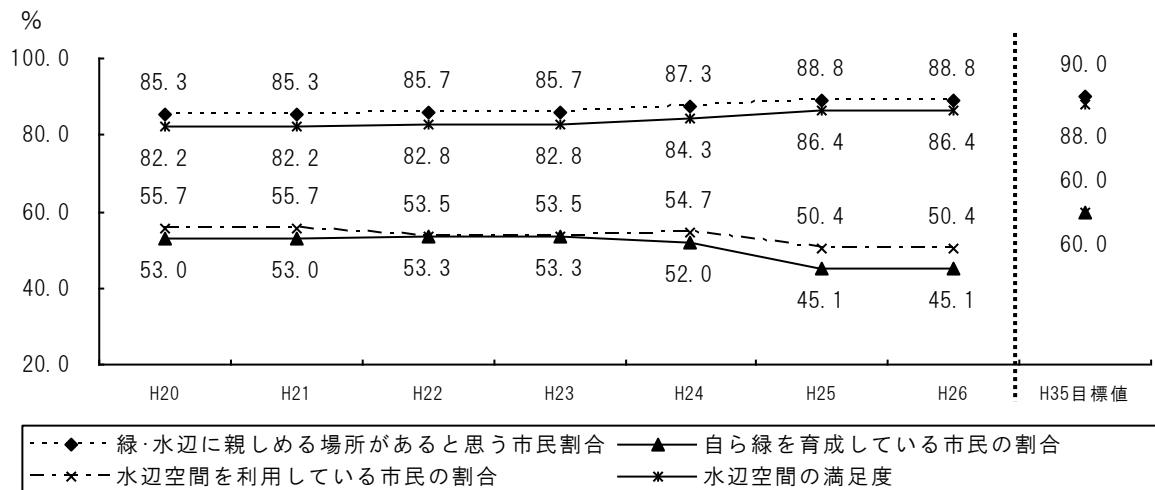
施策4-1 緑と水を守りつなげる

指標名	基準値 (H24)	実績値 (H25)	実績値 (H26)	長期目標値 (H35)
公共緑地面積	499.3ha	499.6ha	500.0ha	503.0ha
民有緑地面積	17.4ha	17.4ha	17.1ha	16.0ha
農業振興地域における農地面積	110ha	110ha (H24データ)	110ha (H24データ)	104ha



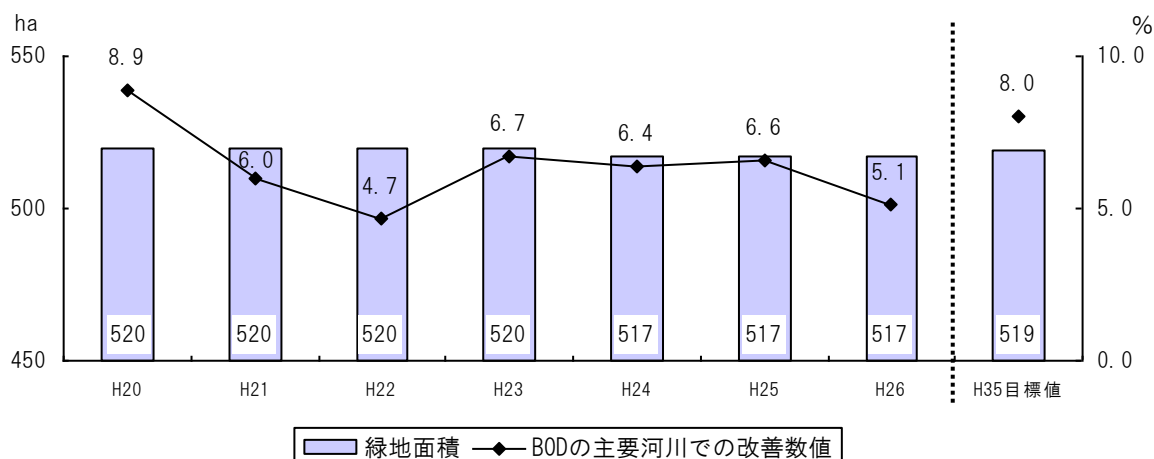
施策4-2 緑と水を育みふれあう

指標名	基準値 (H24)	実績値 (H25)	実績値 (H26)	長期目標値 (H35)
緑・水辺に親しめる場所があると思う市民割合	87.3%	88.8%	88.8% (H25データ)	90.0%
自ら緑を育成している市民の割合	52.0%	45.1%	45.1% (H25データ)	60.0%
水辺空間を利用している市民の割合	54.7%	50.4%	50.4% (H25データ)	60.0%
水辺空間の満足度	84.3%	86.4%	86.4% (H25データ)	88.0%
新たに生み出された緑の箇所数	10箇所	10箇所 (H24データ)	6箇所	10箇所



施策4-3 動植物に配慮する

指標名	基準値 (H24)	実績値 (H25)	実績値 (H26)	長期目標値 (H35)
緑地面積	517ha	517ha (H24データ)	517ha	519ha
BODの主要河川での改善数値	6.4mg/リットル	6.6mg/リットル	5.1mg/リットル	8.0mg/リットル 以下
環境保全活動等に参加している市民団体数 <small>再掲</small>	26団体	29団体	29団体	30団体
環境保全分野のボランティアをしている市民の割合 <small>再掲</small>	4.4%	4.4% (H24データ)	4.4% (H24データ)	7.0%



2 主な「みんなの取り組み」の状況

①緑地の保全

みんなの取り組み内容	平成26・27年度の取り組み状況
自然環境の改変を伴う公共事業を行う場合には、影響の低減に努めます。	必要以上に手を加えない多自然型の手法によって、矢田川河川敷の整備管理を行いました。
市民参加による自然保護活動を促進します。	市民団体が主催する自然保護活動をPRし、市民の参加を促しました。
市民 市民参加による自然環境調査や観察会、保護活動に積極的に参加協力します。	市民が、自然観察会や矢田川河川緑地への植樹イベントに参加し、緑地保全への理解を深めました。

②農地の保全

みんなの取り組み内容	平成26・27年度の取り組み状況
環境保全型農業で生産された農産物の特産品化を進めます。	特産品の「完熟朝採りいちじく」を使用した商品の販売を、名古屋市内の店舗でも開始しました。
市民に農業を身近に感じてもらうため「田んぼアート」や「田んぼイルミネーション事業」を実施します。	市民参加のもと、「田んぼアート」や「田んぼイルミネーション事業」を行いました。
市民 農業体験を通して農業への理解を深めます。	市民が、「親子で学ぶ農業塾」や「尾張旭市農学校」に参加し、農業への理解を深めました。
事業者 農村と都市間の交流体験の場を提供し、地域の農業をPRします。	市内事業者が、農業まつりで阿智村コーナーを開設したほか、設楽町や南知多町の物産販売を行いました。

③水辺の保全

みんなの取り組み内容	平成26・27年度の取り組み状況
生態系に配慮しつつ、親水公園化や遊歩道の設置に努めます。	愛知県の「水辺の緑の回廊」整備事業を活用した植樹のほか、矢田川河川敷の散歩道の整備を行いました。
市民 河川やため池の整備活動に参加・協力します。	市民が、「長池こねイベント」に参加し、ため池の整備に協力しました。
事業者 市民団体の活動や地域の保護活動に積極的に参加します。	市内事業者が、市民団体が開催する「矢田川クリーン大作戦」に参加しました。

④まちの緑化

みんなの取り組み内容	平成26・27年度の取り組み状況
民有地緑化を進めるため、生垣の新設、ブロック塀等から生垣への転用や住宅取得者の記念樹の植樹に対して助成を行います。	平成26年度は3件の生垣設置の助成を行い、235件の住宅取得記念樹の助成を行いました。
市民 ガーデニングや生垣設置など、家の周囲に緑を増やします。	多くの市民が、住宅取得記念樹助成事業や各種啓発用の花の種を活用し、自宅の緑化を進めました。

⑤ふれあいの機会の充実

みんなの取り組み内容	平成26・27年度の取り組み状況
市民や事業者等の協力を得て、休耕田や里山、学校、公園などを利用した自然とのふれあいの機会確保に努めます。	市民団体が開催した山辺の散歩道の自然観察会を支援しました。
市民 自然と積極的にふれあい、自然の大切さを学びます。	市民が、愛知県森林公園や市民団体が開催する自然観察会に参加しました。

⑥生物多様性の保全

みんなの取り組み内容	平成26・27年度の取り組み状況
動植物の生息・生育環境の保全や希少種の適切な保護に努めます。	環境課内に、生物多様性を担当する部門として新たに「環境保全係」を設置しました。
吉賀池湿地の一般公開を開催し、自然環境保全意識の高揚につなげていきます。	吉賀池湿地の重要性を理解してもらうため、一般公開の回数を増加しました。
市民 市内に生息・生育する動植物に関心を持ち、動植物を大切にします。	市民が、長池で開催された「池こね」イベントに参加し、ため池に生息する生物への理解を深めました。

⑦生態系ネットワークの形成

みんなの取り組み内容	平成26・27年度の取り組み状況
東部丘陵生態系ネットワーク協議会の取り組みを推進します。	東部丘陵生態系ネットワーク協議会に参加し、大学との共同研究を進めました。

⑧外来種対策

みんなの取り組み内容	平成26・27年度の取り組み状況
外来生物の駆除により生態系の保全に取り組みます。	アライグマ等の駆除を進めたとともに、長池の「池こね」の際には、ブルーギルの駆除を行いました。



②農地の保全
～田んぼアート



③水辺の保全
～矢田川河川緑地での植樹

3 今後より一層の「みんなの取り組み」が必要な主なことがら

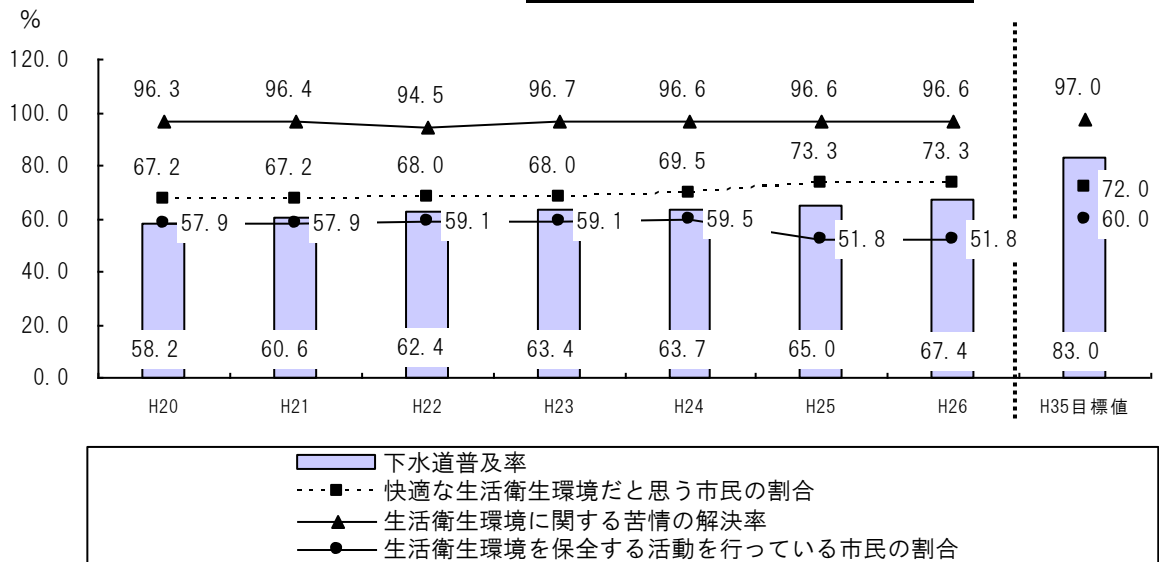
みんなの取り組み区分	内容
①緑地の保全	計画的な土地利用の推進による緑地等の確保
②農地の保全	農地の多面的機能に関する情報提供
④まちの緑化	事業所敷地内の緑化の促進
⑤ふれあいの機会の充実	自然とのふれあいや自然の大切さを学習する機会の提供
⑥生物多様性の保全	市内の自然環境の分布や動植物の実態調査の実施
⑦生態系ネットワークの形成	緑のネットワーク化の推進
⑧外来種対策	外来生物対策に係る情報を発信

分野別目標 ⑤	暮らしやすい快適なまちづくり
---------	----------------

1 「施策」の目的達成度を示す指標の推移

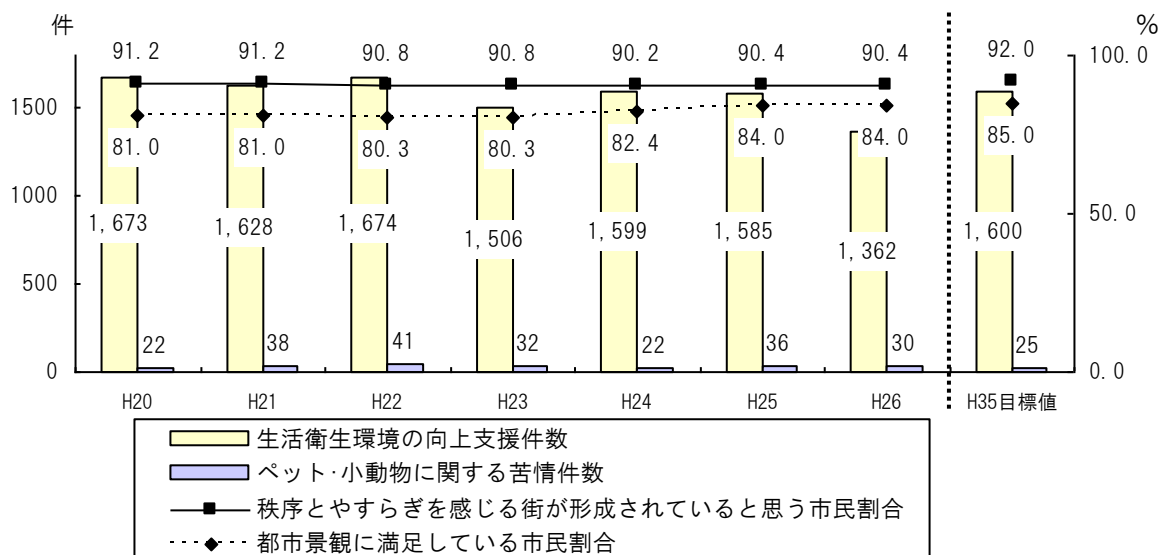
施策5-1 安全で健康な暮らしを守る

指標名	基準値 (H24)	実績値 (H25)	実績値 (H26)	長期目標値 (H35)
下水道普及率	63.7%	65.0%	67.4%	83.0%
快適な生活衛生環境だと思う市民の割合	69.5%	73.3%	73.3% (H25データ)	72.0%
生活衛生環境に関する苦情の解決率	96.6%	96.6%	96.6%	97.0%
生活衛生環境を保全する活動を行っている市民の割合	59.5%	51.8%	51.8% (H25データ)	60.0%
BODの主要河川での改善数値 再掲	6.4mg/リットル	6.6mg/リットル	5.1mg/リットル	8.0mg/リットル 以下
水質を維持しているため池数	4箇所	4箇所 (H24データ)	5箇所	7箇所



施策5-2 快適でゆとりある都市空間をつくる

指標名	基準値 (H24)	実績値 (H25)	実績値 (H26)	長期目標値 (H35)
生活衛生環境の向上支援件数	1,599件	1,585件	1,362件	1,600件
ペット・小動物に関する苦情件数	22件	36件	30件	25件
秩序とやすらぎを感じる街が形成されていると思う市民割合	90.2%	90.4%	90.4% (H25データ)	92.0%
都市景観に満足している市民割合	82.4%	84.0%	84.0% (H25データ)	85.0%
生活衛生環境を保全する活動を行っている市民の割合 再掲	59.5%	51.8%	51.8% (H25データ)	60.0%



2 主な「みんなの取り組み」の状況

①水・土の汚染対策

みんなの取り組み内容	平成26・27年度の取り組み状況
公共下水道整備を推進します。	向町、白鳳町、桜ヶ丘町、南新町、北本地ヶ原町、北原山土地区画整理事業地内の汚水管渠等の整備を進めました。
生活排水対策に関する情報提供・啓発に努めます。	市主催の料理教室で、生活排水改善に関する啓発を行いました。
市民 生活排水浄化に関心を持ち、生活排水クリーン推進員の活動に参加します。	地域婦人団体連絡協議会の会員3名が、生活排水クリーン推進員の活動に参加しました。
事業者 工場排水に関する情報提供を行うなど、地域からの要望に対応します。	市内の2工場が、市が実施する工場排水調査（全リン、全窒素など8項目）に協力しました。

②大気汚染、騒音・振動の防止

みんなの取り組み内容	平成26・27年度の取り組み状況
幹線道路交通の円滑化に努めます。	都市計画道路霞ヶ丘線の用地買収を進めました。
道路交通騒音や振動に関する調査、防止対策を実施します。	国道363号を対象として、自動車騒音常時監視を行いました。
市民 車の購入や買替えの際には、次世代自動車等先進エコカーの購入に努めます。	市民が、あさひ健康フェスタ会場内に展示された燃料電池自動車を見学し、理解を深めました。
事業者 工場騒音・振動に関する情報提供を行うなど、地域の要望に対応します。	市内の工場が、地域からの要望に基づいて悪臭測定を行い、その結果を公表しました。

③有害物質、その他公害への対応

みんなの取り組み内容	平成26・27年度の取り組み状況
有害化学物質等の情報の提供に努めます。	建物解体時のアスベスト対策について啓発しました。
市民 浄化槽の適正管理に努めます。	市民が、浄化槽の法定検査を毎年1回行い、適切な維持管理状況を確認しました。
事業者 化学物質の管理適正使用を徹底し、環境に負荷をかけないようにします。	市内事業者が、愛知県の指導要綱に基づき、ゴルフ場における農薬使用状況を市へ報告しました。

④良好な生活環境づくり

みんなの取り組み内容	平成26・27年度の取り組み状況
歩行空間の整備や維持管理のほか、自転車走行空間の整備を推進します。	歩道の段差解消を進めたほか、市内の自転車ネットワーク計画の策定に向けて検討を進めました。
未整備地区での基盤整備や老朽化した施設の管理のあり方などの検討を進めます。	平成25年度策定の基本方針に基づき、本市のファシリテイマネジメントを総合的に推進しました。
市民 あさひ景観フォトサロンに参加し、都市景観に関心を持ちます。	市民が、市内の守り育てたい景観や、愛着のある景観などを撮影し、あさひ景観フォトサロンへ投稿しました。
事業者 景観を乱さぬよう、所有施設をはじめ、看板などにも配慮します。	市内事業者が、屋外広告物法の規定に基づき、看板等の設置に関する届出をしました。

⑤環境美化

みんなの取り組み内容	平成26・27年度の取り組み状況
環境美化意識の浸透に努めます。	校区社会福祉推進協議会の協力のもと、「まち美化大作戦」事業を開催し、市内の一斉清掃を行いました。
空き地や空き家の雑草管理の徹底を図ります。	シルバー人材センターと、空き地・空き家の管理に関する協定を締結しました。
市民 公園や街路樹などの維持管理に協力します。	市民が、公園愛護会活動に参加し、公園内の雑草の除去や清掃等を行いました。
事業者 清掃活動などの地域活動に協力します。	市内事業所の社員等が、市民団体主催の「矢田川一斉クリーン大作戦」に参加しました。

⑥マナーの向上

みんなの取り組み内容	平成26・27年度の取り組み状況
動物飼育マナーや犬、猫などのふん害防止のための啓発に努めます。	「愛犬出前しつけ方教室」を開催し、ふん害防止グッズを配布しました。
「地域ねこ活動」への支援を促進します。	地域ねこの避妊等手術費の一部を補助するとともに、同活動への理解促進のための啓発を行いました。
市民 「地域ねこ活動」に協力し、飼い主のいない猫を削減します。	市民が、「地域ねこ活動」に賛同して同活動に登録し、避妊去勢手術やトイレの清掃等を実施して、野良猫の適切な管理へとつなげました。



②大気汚染、騒音・振動の防止
～あさひ健康フェスタでの燃料電池車の展示



⑥マナーの向上
～愛犬出前しつけ方教室

3 今後より一層の「みんなの取り組み」が必要な主なことから

みんなの取り組み区分	内容
①水・土の汚染対策	市民ボランティアによる地域の環境監視の実施
②大気汚染、騒音・振動の防止	市民や事業者と協力したノーカーデー運動の実施
④良好な生活環境づくり	地域の歴史や文化を生かした都市空間の形成
⑤環境美化	環境美化意識の浸透
⑥マナーの向上	不法投棄、ポイ捨ての防止対策

みなさまのご意見・ご感想をお寄せください！アイデア募集！

尾張旭市では、市民・市民団体、事業者のみなさまからの声を環境行政に反映させていただくため、この環境基本計画年次報告書の内容について、意見・感想を募集しています。

それぞれの取組みが、より良い方向に進めるようなアイデア、感想、チョット言いたいんだけど・・・といったこと、また、年次報告書の内容全般について等、何でもかまいません。

1 意見等の締切日

平成28年2月5日（金）

2 意見等の提出先及び提出方法

(1) 提出先

尾張旭市役所 環境課

(2) 提出方法

ア 郵送の場合

〒488-8666 尾張旭市東大道町原田2600番地1

（住所は書かなくても届きます。）

イ FAXの場合

0561-52-0831

ウ 電子メールの場合

kankyou@city.owariasahi.lg.jp

※ 様式は自由です。なお、最終頁に参考様式を掲載していますので、ご利用ください。また、意見等を提出の際には必ず住所・氏名・年齢をご記入ください。なお、電話での意見は受け付けませんのでご了承ください。

※ お寄せいただいた意見等は、翌年度の年次報告書作成の参考にさせていただくとともに、その意見に対する市の考え方について、ホームページなどでの公表を予定しています。（意見部分のみ）

※ ご記入いただいた個人情報については、意見等のとりまとめ以外の目的には使用しません。

3 問い合わせ先

尾張旭市役所 環境課環境政策係 TEL：0561-76-8134（直通）

(参考様式)

「平成27年度 環境基本計画年次報告書」に関する意見等記入シート

氏名		年齢	
住所			

キ
リ
ト
リ

- ※ お寄せいただいた意見等は、翌年度の年次報告書作成の参考にさせていただくとともに、その意見に対する市の考え方について、ホームページなどでの公表を予定しています。(意見部分のみ)
- ※ ご記入いただいた個人情報については、意見等のとりまとめ以外の目的には使用しません。

提出先…尾張旭市役所 環境課

▽郵送の場合：〒488-8666

尾張旭市東大道町原田2600番地1 (住所は書かなくても届きます。)

▽FAXの場合：(0561) 52-0831

▽電子メールの場合：kankyou@city.owariasahi.lg.jp